農水省メールマガジン『農村ふるさと保全通信』第134号

|  |  |
| --- | --- |
| お知らせのタイトル | **農水省メールマガジン『農村ふるさと保全通信』第134号が発刊されました** |
| 概　　要 | 農水省が平成２８年７月１５日に創刊した「農村ふるさと保全通信」は、多面の活動組織のネットワーク形成や、国民の皆さんへの理解醸成を推進することを目的としたメールマガジンです。多面的機能支払の活動組織の紹介や、地域資源保全の新技術などの情報を月1～2回程度配信しています。（最新号は2024.3.1発刊の第134号です。）バックナンバーについては、農水省のＨＰよりご覧になれます。 |
| 内　　容 | 第１３４号の目次１．活動組織の活動紹介☆地区資源保全協議会（徳島県市☆コウノトリと共存した地域づくりを目標の一つとし、コウノトリの保護に取り組むNPO法人より助言をもらってビオトープの整備を始めました！ビオトープの場所の選定から始まり、更なる整備を進めています！☆地区環境整備会（鹿児島県市）☆指宿市広域協定に属しており、構成員が高齢化していく中、役員や若手後継者が、ハンマーナイフモアなどを借り上げ、農用地・道路・水路等の維持管理作業を効率よく行っています！２．女性役員へのインタビュー ☆たかしま（滋賀県市）☆集落の外に出られた方にも参加を呼び掛ける、広域組織で所有しているラジコン草刈機を借りてくるなど、参加者の負担が減るように工夫している活動組織にインタビューを行いました！３．活動組織の広報誌紹介☆蛍の里を守る会（兵庫県市）☆景観形成の取組により、地域の美しい景観が保たれていることを写真でPRしたり、用水路の補修工事について規模に応じた対応を細かく掲載したり、地域の活性化につながる情報を掲載しています！【編集後記】　以　　上 |